

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する公開情報

### 研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日： 2022年2月1日 (変更申請承認日：2025年12月4日)
研究課題名：感染症遺伝子検査を含む臨床検査の迅速化及びモバイルラボラトリ・スマートラボラトリの社会実装研究
研究期間：研究実施許可日～2028年3月31日
研究対象：臨床検査後の残余検体の研究への二次利用について同意を得られた患者さん
<p>対象材料</p> <p><input type="checkbox"/>病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/>生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/>遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/>血液材料 <input checked="" type="checkbox"/>その他（鼻咽頭検体、鼻腔検体、唾液検体、喀痰検体、診療情報）</p> <p>上記材料の対象期間 委員会承認後～2028年2月29日</p>
<p>意義・目的：</p> <p>本研究では、自立的電気供給および検査機能を兼ね備えた水素燃料電池バスを用いた臨床検査（モバイルラボラトリ）に対する社会実装評価を行います。さらに、副次評価として、モバイルラボラトリに搭載している全自动遺伝子検査装置 GENECUBE 試薬の妥当性評価、AI 搭載ドローンなどを活用した医療機関の臨床検査連携（スマートラボラトリ）の社会実装評価も行います。</p> <p>本研究により、新型コロナウイルス感染症などの新興感染症に対し、特殊検査項目を搭載した全自动検査診断機器のモバイル化（モバイルラボラトリ）を発展させ、基幹医療機関と郊外や過疎地域などの小規模医療機関との間での検体授受の自動化や迅速化を行うスマートラボラトリにより、医療提供体制の均一化を進めることができます。</p>
<p>方法：</p> <p>保健所、イベント、被災地などに水素燃料電池バスを派遣し、患者さん本人もしくは代諾者さんより本研究への参加同意を得た後、臨床検査検体（鼻咽頭・鼻腔・唾液・喀痰・血液の各検体）の残余検体を用いて、水素燃料電池バス内のPCR検査を行います。AI 搭載ドローンや搬送ロボットなどを活用したスマートラボラトリの検体への影響を検証します。</p> <p>本研究で用いる診療情報は、データシートを作成する時点で氏名や生年月日などの情報を削除し、研究独自の症例番号を付与します。以降のデータの取扱いはすべてこの症例番号に基づいて実施しますので、個人が特定されることはありません。なお、この研究への情報提供を希望されない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その患者様の情報は利用いたしません。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。</p>
<p>問い合わせ等の連絡先</p> <p>筑波メディカルセンター病院 感染症内科 寺田教彦（代表番号 029-851-3511）</p>